

いつ地震がきても…

9月1日は防災の日でした。去る2日(火)は、学校(幼稚園)でも、地震に備えた避難訓練を実施しました。緊急放送の合図に、子どもたちは冷静に落ち着いて行動し、全員が校庭に避難するのに、2分と掛かりませんでした。子どもたちの防災への意識もずいぶんと高まっているようです。しかし、本当の災害は突然やってきます。学校の外にいるときはどうしたらよいでしょうか。ご家庭でも、いろいろな場所で災害に遭遇したときはどうすればよいか、一緒に考えてみてください。



無言で避難する子どもたち

これからもお元気で！

9月14・15日は、校区内4つの集落で、敬老会が開催されました。どの公民館でも、たくさんのお年寄りが招待され、ねぎらいや感謝の気持ちを含めた催しが開かれました。子どもたちからも、お祝いの言葉や歌などの発表がありました。参加された皆さん、まだまだお若く、はつらつとしていらっしゃるようでした。皆さんが長い間積み上げてこられた豊富な人生経験と叡智は、私たちの地域にとっても貴重な宝です。そして今後とも、子どもたちが立派に成長するように、ときに厳しく、いつまでも温かく、見守り、育てていただきたいと思ひます。



子ども達のお祝いの歌

入賞おめでとう！

これまで絵画や作文など、各種作品展に応募し、多くの賞を受賞しました。

選	学年	名前
特選	2年	※ 個人名は伏せます。
〃	4年	
〃	5年	
〃	5年	
〃	6年	

選	学年	名前
特選	5年	〃
〃	6年	

選	学年	名前
特選	4年	※ 個人名は伏せます。
〃	5年	
入選	1年	
〃	2年	
〃	3年	
〃	6年	

コース	学年	選	名前
月色	5年	完唱	※ 個人名は伏せます。
〃	6年	〃	
烏頭坂	4年	〃	
〃	5年	〃	
団体	6年	〃	

堂々と伝統の踊りを披露！

9月6日(土)第11回伊集院地域キッズフェスティバルが開催されました。今回、各子ども育成会の活動発表の一つとして、上土橋子ども会(小学生8名、中学生3名)が棒踊りを発表しました。上土橋は昔から棒踊りが盛んで、長い間、集落で踊り継がれてきました。しかし、最近では後継者が少なくなり、小中学校(高校)の子どもたちが、伝統を引き継いでいます。この日は会場いっぱいのお客様を前にして、これまで一生懸命練習した成果を、元気に堂々と発表しました。会場で発表した他のどの子ども会よりも大きな拍手を浴びていました。これからも、この素晴らしい伝統をいつまでも大切に守り、続けてほしいと思ひます。



低学年の子どもたちも…



舞台上で元気に踊る子どもたち

今年もたわわに

今年も校庭の大銀杏には、黄色い実が鈴なりです。例年よりも実入りが早いようで、既に校庭にはたくさんの実が落ちています。大風や大雨で、一気に実が落ちてしまっても、見上げた先にはまだまだたくさんの実がなっています。さすが、町の指定を受けるほどの大物です。そこで、子どもたちも、朝のボランティア活動の時間などに毎日のようにバケツに実を拾ってくれています。これから、これらの実は下処理をして販売することになります。今年も土橋産の銀杏の実をどうぞよろしくお願いいたします！



子どもたちも銀杏拾い

上空から土橋小を撮影

中川地区の道路工事をされている田島組様が、これまで工事のご協力のお礼に何か記念になるものをという事で、上空から校舎全景の写真を撮影してくださいました。写真は、リモコン操作の小型ヘリのようなもので撮影されました。航空写真で撮ったものと遜色ないくらいよい出来栄でした(写真はホームページにも掲載)。子どもたちにとっても、よい記念になりました。



子どもたちも一緒に

自然に振る舞えたこの行動を、とても誇らしく感じることでした。

ところで、工事の方のお話によると、「毎日、子どもたちが気持ちのよいあいさつをしてくれるので、元気が出ました。」と、うれしい言葉をいただきました。子どもたちが日常生活の中で